

単元名 **みらいへのつばさ**

配当時間 **2時間**

単元の目標 (1) 日本が取り組んでいる国際協力の活動を理解し、表やグラフなどの資料を読み取ることができる。  
 (2) 日本が取り組んでいる国際協力の活動から、自分たちでもできる活動について調べたり、話し合ったりしながら、計画を考えることができる。  
 (3) 国際協力の活動について、自分たちにとって身近な関心事と捉え、課題に取り組もうとする。

### 標準的な展開例

06040304\_001

【準備等】電卓

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 ODA（政府開発援助）における国際協力の活動資料を基に、ODAの金額を読み取る。[p. 204・p. 205]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ つばささんのメモから、ODAの金額についてよみとろう</li> <li>○ アメリカのODAの金額は、日本のODAの金額の何倍かを考える。</li> <li>○ つばささんのメモにある[A]～[C]の資料のうち、どの資料を使うとよいのかを考える。</li> <li>○ アメリカのODAの金額は、日本のODAの金額の何倍かを、1/10の位までの概数で求める。</li> <li>○ 「みんなで考える問題」に取り組む。</li> </ul> <p>○ 「練習問題」に取り組む。</p> <p>2 ODA（政府開発援助）における国際協力の活動資料を基に、自分たちにもできそうな国際協力の活動の計画を立てる。[p. 206・p. 207]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ 自分たちでもできそうな国際協力の活動の計画をたてよう。</li> <li>○ 国際協力の活動について調べ、話し合う。</li> </ul> <p>○ 話し合ったことを基に、国際協力に関する計画を立てる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ つばささんのメモを活用して考えることを確認する。</li> <li>・ [A]～[C]の資料を比較し、どの資料が一番有効なのかを考えさせる。</li> <li>・ 「正しい」「正しくない」を説明するにあたり、根拠を明確にすることを確認する。          【評】資料を読み取り、言葉や式などを使って説明する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</li> <li>・ 国際協力の活動について、インターネットや本、パンフレットなどを活用し、調べた情報を共有させる。          【評】国際協力の活動について調べ、話し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> <li>・ 共有した情報を基にして、国際協力の活動に関する計画を立てられるようにする。          【評】資料を活用し、国際協力に関する計画を立てる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</li> </ul>

### 【 備 考 】

本単元では、国際協力の活動についての話題を取り上げている。各国が手を取り合い、助け合いながらよりよい世界を創るためには、未来を担う児童にとって、身近な関心事と捉えることが大切である。単元を通して、既習事項を活用し、国際協力の活動について調べたり、話し合ったりしながら、自分たちにもできそうな国際協力について考える。児童にとっても関心が高く、進んで活動しようとすることができる単元である。